

令和4年7月21日

茨城県県民生活環境部環境政策課

担当：菊地（直通）029-301-2933

かすみがうら市地域未来投資推進課

担当：高井・稲垣 029-897-1111(内)2403



茨城県

「いばらきフードロス削減プロジェクト」

坂農苑（ブルーベリー農園）・株式会社サザコーヒー・株式会社八芳園
筑波大学アートデザインプロデュース・かすみがうら市・県・チャレンジいばらき県民運動
の産学官連携で「大学生による未収穫果樹の収穫体験・活用検討」プロジェクトを展開！

フードロスは、環境悪化や食料危機への重要な課題です。

県では、「いばらきフードロス削減プロジェクト(R3.7月)」として、かすみがうら市の主導で、企業と連携し、学生が未収穫となったブルーベリーを収穫する取組みを開始します。

収穫したブルーベリーは、今後、学生が継続的に活用方法を幅広く検討し、地域の新たな特産品としての商品化などを目指して取り組むこととしております。

また、将来的には、農園を地域コミュニティの場として創出していくことなども構想しています。

皆様には、ぜひ、取材で現地へ足をお運びくださいますようお願いいたします。

記

○ 全体構想イメージ ※今回は STEP1 収穫体験です。

STEP1 学生の収穫体験 ※いずれの日でも取材していただけます。

[今回] ・ 日時：7/31(日)・8/18(木)・8/25(木) 10時～12時まで

・ 場所：坂農苑(かすみがうら市宍倉 4493) [全日程共通]

STEP2 収穫果樹の商品化に向けた活用検討(9～10月)

⇒アイデアコンテストの実施(11月)

(例) 商品化の検討、メニューの考案、販売方法検討、パッケージの工夫
坂農苑でのにぎわいの場づくりの検討

STEP3 サザコーヒーや八芳園、坂農苑の協力・支援を受けて、商品化・販売等
実践化(11月～※年度を超えて継続実施)

(例) サザコーヒーや八芳園の店頭で販売

地元飲食店や小売店で販売、坂農苑を地域コミュニティの場として活用

○参加人数 : 25名程度(筑波大学 学生)

○実施体制 : 【産】株式会社サザコーヒー(ひたちなか市)
株式会社八芳園(東京都港区)

【学】筑波大学アートデザインプロデュース(つくば市)

【官】かすみがうら市、県

【協力】チャレンジいばらき県民運動(水戸市)

(※本事業の詳細は、別途参照)

かすみがうらフードロス削減の取り組み

ブルーベリー収穫体験(7月~8月に実施)@坂農苑

収穫日：7月31日(日)、8月18日(木)、8月25日(木)
筑波大学 学生 (25名程度)

収穫果樹の活用検討・アイデア出し(9月~10月に実施)

産学官連携の体制により、各出口戦略を見据えて
筑波大学生からのアイデア出し(オンライン等で複数回の実施)。
最終回は、ピッチコンテストなどリアルでの発表会を開催。

収穫果樹の商品化・販売等(11月以降~実施)

ザ コーヒー

<リアル戦略>
店舗等での販売

八芳園

<リアル戦略>
店舗等での販売

農園を地域コミュニティ創出の場として活用する等、まちづくりの地域振興策の検討も行う。
地域の食材をPRすることによる地域(かすみがうら)の魅力、日本の良さを発信する。

- 2 -

本取組みをきっかけに、継続的な取り組み(筑波大学ブルーベリープロジェクト)を構築



学生による収穫体験



市内ブルーベリー農園（坂農苑）